

電力総連のジェンダー平等・男女平等参画社会実現への取り組み

岩手県内で働く電力総連関係産業の組合員は約1,500人で、そのうち女性組合員は約120名であり、男女比率にしますと男性92%、女性8%で特に技術系の職場で男性が多い状況になっております。



電力総連は、連合方針やジェンダー主流化、多様性などの社会情勢を踏まえ、男女平等社会の実現を目指し「労働組合における男女平等計画」と「職場・社会における“人権が保障される社会の実現”」の活動を展開することとしており、東北電力総連では、「男女が共にイキイキ」と働ける職場づくり、「イクボス文化」のさらなる浸透を目指した活動を展開中であります。

男女が自らの意思によって社会のあらゆる分野に参画する機会が確保され、お互いに人権を尊重しつつ責任も分かち合い、ともに仕事や子育て・介護などのワーク・ライフ・バランスを実現し、性別に関係なく個性と能力を十分発揮することで、経済的に社会的に利益を均等に分かち合うことができる男女平等参画社会であるべきと考えおります。

連合岩手に集う皆さんとともに、ジェンダー平等・男女平等参画社会の実現に向けて活動を展開してまいりましょう。

岩手県東北電力総連
会長 佐藤 茂生